

2021年度総務省インターンシップ 実習課題一覧

別紙

	研究課題	実習内容	受入部署(予定)	受入可能時期	実習形式	実習に係る経費 (府省内での実習 交通費を除く)	受入人数
課題 1	国の行政管理・評価、統計にかかる政策に関する行政実務	総務省では、行政の組織・業務のあり方を変革し、国家行政の基盤を整備する仕事をしています。 政策評価・監視の推進や、新時代の行政をつくる業務・働き方改革やデジタルガバメントの推進、行政運営の透明性・信頼性の確保、客観的な政策決定の基礎となる公的統計の整備など、幅広い分野で活躍しています。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。	関係部局(調査票の内容(興味・関心)より調整)	2021年7月26日(月) ～ 9月17日(金)のうち1週間	実務部署での受入型	外部施設見学等を行う場合は適宜自己負担頂く可能性があります。	90～100名程度 ※昨年度受入実績:101名
課題 2	地方自治行政に関する行政実務	総務省は国と地域のあり方を変革し、未来の日本をかたちづくる仕事をしています。 地方分権や大都市制度などの統治機構改革、今後の少子高齢化社会を見据えた地域活性化策の立案、地方分権改革を財政面で支えるための地方税財源の充実確保、東日本大震災等を踏まえた消防防災体制の強化などを通じて地方自治行政の根幹を支えています。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。					
課題 3	情報通信産業・技術にかかる政策に関する行政実務	総務省では、日本の情報通信インフラを整備し、情報通信技術(ICT)を用いて新たな付加価値を生み出す仕事をしています。 その仕事は、日本全国におけるインターネット環境整備の推進、放送サービスの将来像の検討、医療・教育・金融等の社会課題を解決するICT利活用政策、ICTをめぐるルール整備に関する国際戦略、AI・5G等の最先端技術の研究開発・実用化推進など、多岐にわたります。 今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。					